

「北海道食品ロス削減推進計画素案」に対する委員の主な発言と対応状況  
 (令和2年度第2回食の安全・安心委員会：令和2年11月13日)

項 目	意 見	対 応
消費者、家庭	<ul style="list-style-type: none"> <li>・子どものうちに体験、経験することで、食べ物の大事さが理解できるので、その取組は重要。</li> <li>・体験することにより、その生産物に対する思いが変わる。</li> <li>・家庭での調理後の保存方法や安全な期間、長持ちする保存技術などを事例的にわかりやすく示すことも必要。</li> <li>・保存や調理の仕方、食べ方などを伝えることも大事。</li> </ul>	<p>基本方針1において、消費者個々の意識を醸成し、食品ロス削減の取組の実践を掲げ、第4章の関係者の役割において体験などを通じて食への理解と食に関する正しい知識を深める取組や、地産地消の推進、食材の保存方法、料理レシピなど食品ロスの削減につながる情報提供・発信などの取組を進めることとしております</p>
事業者	<ul style="list-style-type: none"> <li>・意識の高い方は堆肥化するなど工夫している。</li> <li>・循環型社会を考えると解決することも多いのでは。</li> <li>・食品ロス削減のため、買わないようになるのは、うれしくない話。それより、料理を作っておいしく食べる、輸入食品を減らす方向でもやってほしい。</li> <li>・ポイントを絞って対策することが必要。</li> <li>・保管や品質管理、鮮度管理についても考えていかなければならない。</li> <li>・家庭での調理の利便性を考えて加工すると、家庭でのロスは減るが事業系で増える。両方の意識を高めることが必要。</li> </ul>	<p>基本方針1において、食品関連事業者等の意識を醸成し、食品ロス削減の取組の実践を掲げ、関係者の役割において、理解の促進や自ら行う取組、技術や取組などの情報提供・発信、循環型社会形成の推進などを進めることとしております。</p>
フードバンク活動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・フードバンク活動について、消費者の中にも知らない人はいるので、もう少し記載してほしい。</li> <li>・ネットでフードシェアリングを運営する企業の中には、提供側のお店の価値を下げてしまうような情報提供の仕方をしていところもあり不安。</li> </ul>	<p>基本方針2において、未利用食品等の有効活用の促進を掲げ、フードバンク活動に対する消費者や事業者などの理解の促進や連携の強化を図ることとしております。</p>
その他	<ul style="list-style-type: none"> <li>・消費者も事業者も、もったいないという意識で物事を考えていかなければならないのでは。</li> <li>・行動に移させるため、何か具体的なことを伝えていかなければならない。行動に結びつけるような手立てを。</li> <li>・科学に基づいた情報提供などがあればよいのでは。</li> <li>・食品ロスの取組だけ考えるのではなく、食育や防災などの考え方も必要。</li> <li>・技術開発の部分やその社会実装の部分も重要。</li> <li>・全国レベルの課題もある。</li> </ul>	<p>関係者の役割を具体的に記述するとともに、食品ロス削減に向けた意識の醸成や食品ロスの削減につながる技術や事例などの情報提供・発信などの取組を進めることとしております。</p> <p>また、全国的な取組については、国などと一体となって推進することとしております。</p>